

ファッションのカーボンニュートラル 実現に向けて

2021年2月22日
株式会社アダストリア
取締役 福田 泰己

A D A S T R I A
— *Play fashion!*

アダストリアの御紹介

会社概要

A D A S T R I A

Play fashion!

ショッピングセンターを中心に展開するカジュアルファッション専門店チェーン。「Play fashion!」をミッションに掲げ、ファッションを通してお客さま一人ひとりの毎日に「もっと楽しい」選択肢をご提案しています。

業 種	カジュアル衣料専門店
代 表	代表取締役会長兼社長 福田 三千男
設 立	1953年10月22日
連結売上高	2,223億76百万円 ※2020年2月期
従業員数	5,715名 ※2020年2月期

事業の特徴

30を超えるブランドを国内外に約**1,400店舗**展開



GLOBAL WORK

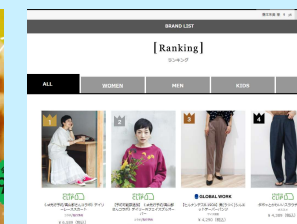


LOWRYS FARM

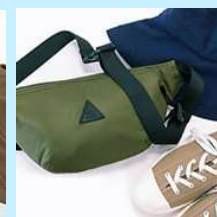


niko and ...

公式WEBストア ドットエスティ会員 **1,030万人**



マルチカテゴリー戦略による多様な商品展開



サステナビリティに対する取り組み

ファッションのワクワクを、
未来まで。

ファッションには、一人ひとりの毎日を
前向きにしてくれるパワーがある。
この先もずっと、ファッションでワクワクできるように。
環境、人、地域のために、私たちらしく楽しみながら
できることから始めよう。
楽しむことが、続けられるいちばんの力だから。

Play fashion!



VISION

取り組み

未来に繋がる
ものづくり

- 2025年までに全てのコットンをサステナブルな原料へ切り替え
- **素材ごとにサステナビリティの定義を策定**、生活者に伝えやすくするシンボル表示を開始
- **製品ごとの環境負荷低減に関するスコアリングシステムの開発**

ファッションロスのない世界

- グループ全体で**残在庫の焼却処分ゼロを方針**に取り組みを推進
- 適正在庫に向けた仕入・販売のコントロールを徹底
- アップサイクルブランド「FROMSTOCK」による残在庫の再価値化
- 子ども服のシェアリングサービス「KIDSTROBE」、衣料品回収リサイクル「Play Cycle！」の継続的实施

環境への配慮と
営業活動の両立

- マイバッグ利用の推進
- 店舗、物流センターの省エネ化（LED化の促進）
- 輸入時にコンテナを活用した輸送効率の最適化
- 生産委託先に対するエネルギー使用量の把握、管理

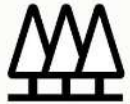
【生活者の意識を変える】製品別環境負荷指数の見える化

ADASTRIA × Roland Berger × KESHIKI

Higg Index MSIをベースに環境負荷についての情報を分かりやすく伝える仕組みを開発

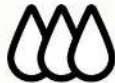
- 100%サステナブル素材を用いたファッションD2Cブランド「OOU オーゼロユー」を準備中。
- 生活者が自分自身の選択を『カッコいい』と思える購買体験を目指す、その結果としてのCO2削減。
- 購入のきっかけから購買後の納得感、そして共感、共鳴の流れが肝要。

【製品評価ページイメージ】



CO2排出量 6.4 kg

杉12本分の削減効果



水使用量 198.3ℓ

ペットボトル61本分の削減効果

シンプルかつ分かりやすい例えで
環境負荷低減効果を開示

3段階表示による製品評価

These results were calculated using the Higg Materials Sustainability Index (Higg MSI) developed by the Sustainable Apparel Coalition (SAC). The Higg MSI assesses impacts of materials from cradle-to-gate for a finished material (i.e. to the point at which materials are ready to be assembled into a product). The Higg MSI scores or percent calculations provided herein account for a single production stage within the Higg MSI scope (e.g. fiber or raw material). They do not provide a holistic view of the impacts involved with material production. SAC does not verify results of user customized materials. Retrieved from msi.higg.org (2020,2021)



【下記の項目から環境負荷を算出】

- 製品の重量
- 素材名
- 原材料の詳細
- 製造過程プロセス
- 加工の詳細
- 各素材の含有率

Higg Index MSI

持続可能なアパレル産業構築を目指す
非営利団体サステナブル・アパレル・
コーリション（SAC）が開発した、素材
の環境負荷を見える化する指標。

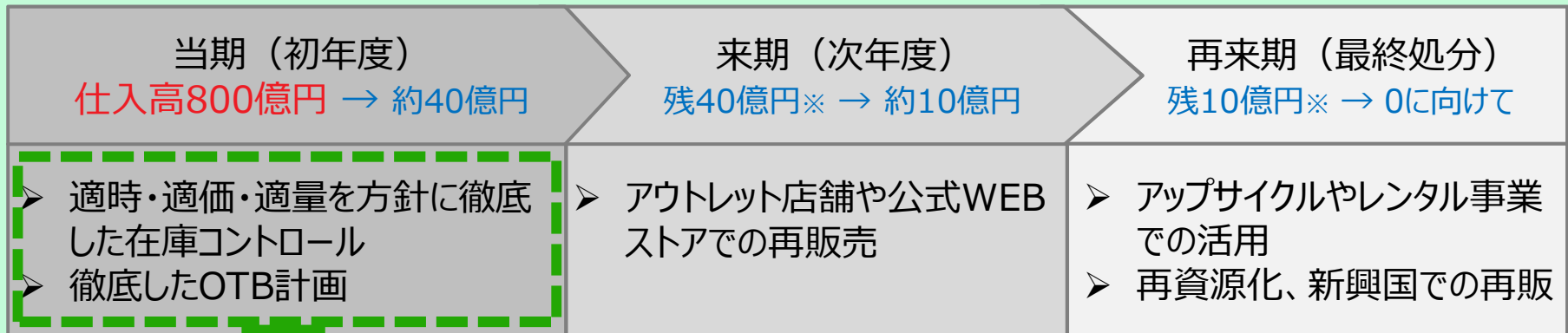
生活者がサステナビリティを広げる活動に自然と参画できることを目指す

ADASTRIA
— Play fashion!

【業界の商慣習を変える】適価販売・適量生産への取り組み

衣料品在庫の焼却処分ゼロを決定し、適量生産に向けた取り組みを推進

当社(年商2,000億円)の仕入・販売サイクル



※この他に各期800億円の仕入は発生

➤ 【徹底したOTB計画】

- ・売上と荒利の状況に応じ、残在庫から逆算して導く仕入計画

通常：（期初在庫＋仕入高）－ 売上原価 ＝ 残在庫

当社：（残在庫 ＋ 売上原価）－ 期初在庫 ＝ 仕入計画

➤ 【発注精度の向上】

- ・単品管理の徹底により追加発注及び仕入抑制を素早く判断
- ・自社EC1,000万会員による先行予約受注状況やサンプルを店舗スタッフが評価する仕組みを活用し発注数量を決定



カーボンニュートラル実現にあたって業界の課題

課題 1：業界全体が分業で成り立っている

- 業界が分業体制にあり、サプライチェーン全体を通じた環境負荷の把握が難しい

【サプライチェーンと環境評価の流れ】



課題 2：業界を通じてサステナビリティの統一された定義・ルールが存在しない

- 各社様々な良い取り組みがあるが、残念ながら生活者に伝わりづらい
- サステナブルな素材の使用、開発にコストがかかるものの、価格で吸収できていない

【ご参考】

当社定義
※ Cotton の例

・水、農薬、化学肥料の使用量を削減
・土壌の保全および生態系への配慮

・生産者の労働環境の整備
・認証機関の証明書の発行

アパレルブランド、団体ごとにその認識と定義は様々、ルールが必要

カーボンニュートラル実現にあたって商慣習の課題

課題3：セールの常態化による大量生産・大量廃棄

- ・ 定価販売の季節にも販促セールを開催、生活者としても「セール待ち」の状態
- ・ 企業側もセールを前提とした販促、仕入を行う為、生産数量が増える

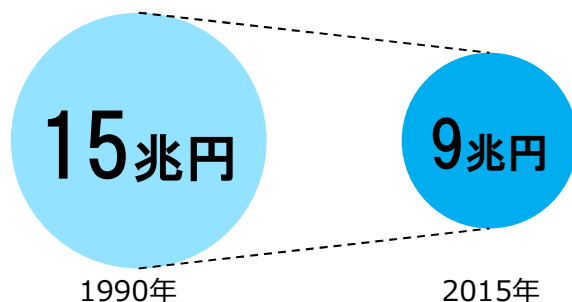
ファッション業界の
商慣習に

【年間SALEスケジュール】

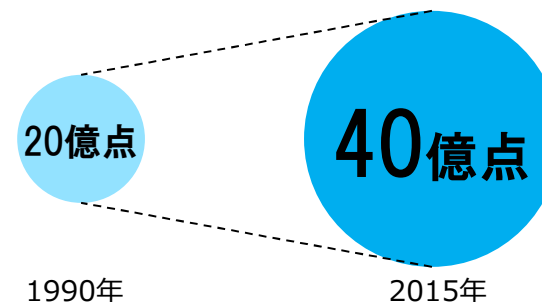
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
上期セール スケジュール	ゴールデンウィーク	自社クレ10%OFF	FBセール	駅ビル系セール		自社クレ10%OFF
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
下期セール スケジュール	自社クレ10%OFF	ブラックフライデー サイバーマンデー	郊外SCセール	初売セール	郊外クリアランス	自社クレ10%OFF

【ご参考】

アパレル国内市場規模の変化



アパレル国内供給量の変化



- 7
- ・ アパレル市場では25年間で市場規模が2/3に、供給量が2倍に、即ち一品単価が1/3になっている。

官民連携のご提案

1. サステナビリティの定義を業界横断で策定、生活者にとって分かりやすい情報表示ガイドラインの開発

- 各社、ブランドごとのサステナビリティではなく、業界共通の統一されたルールを策定
- 生活者がサステナブルな製品を比較、選択しやすく、Coolで共感できること

2. サプライチェーンを一貫したツールで環境負荷を把握、数値化が可能な仕組みづくり

- 分業化サプライチェーンを一貫したツールで原料調達から製造、輸送までの環境負荷値を可視化

3. 環境負荷の低減に貢献する取り組みへのインセンティブ

- リサイクル素材の活用、CO2を減少させる取り組みについて税金の減免等の優遇措置があれば、取り組む企業を後押しし、生活者も手を伸ばしやすくなると思料

4. 定価販売が当たり前の価値観を再度創出すべく、ファッション業界の商慣習を見直し

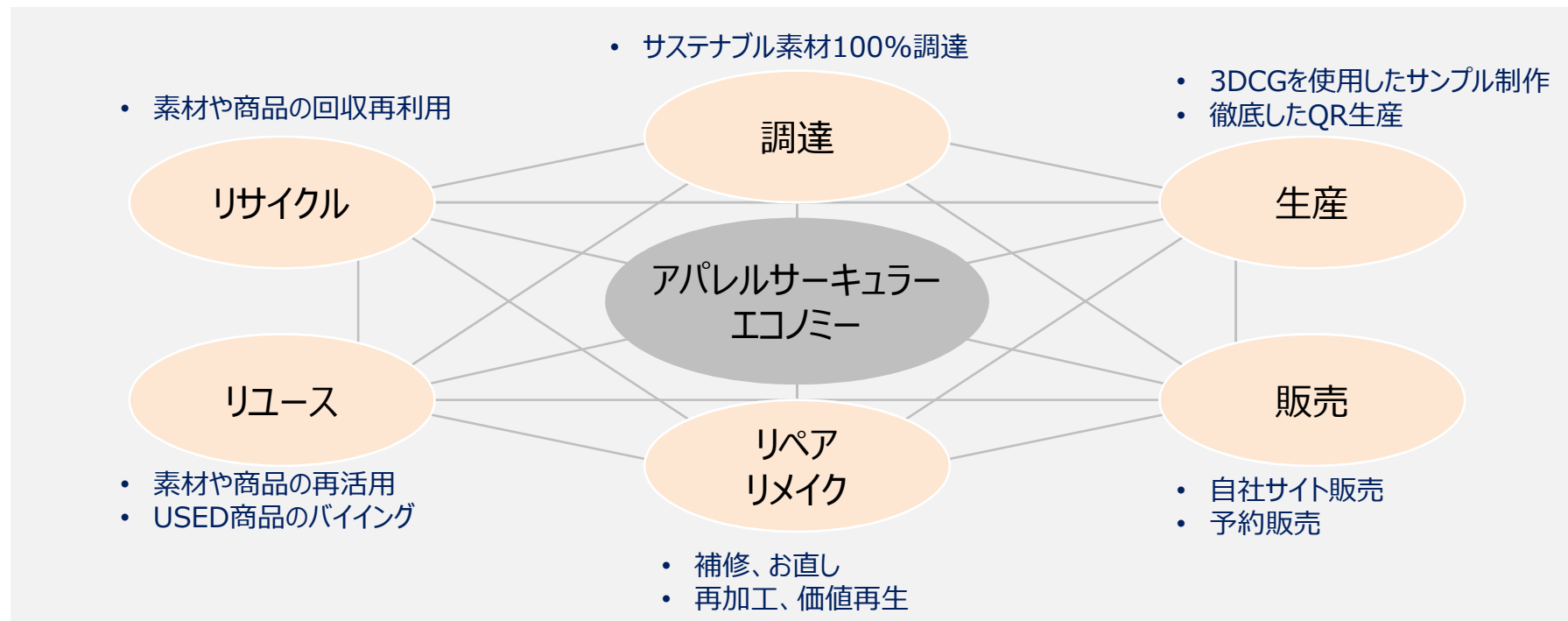
- 過度なセールの実施や長時間営業など、これまでの商慣習を次世代に適した在り方に

ご参考資料

その他取り組みの御紹介

■ アパレルサーキュラーエコノミーの実現を目指す子会社を設立

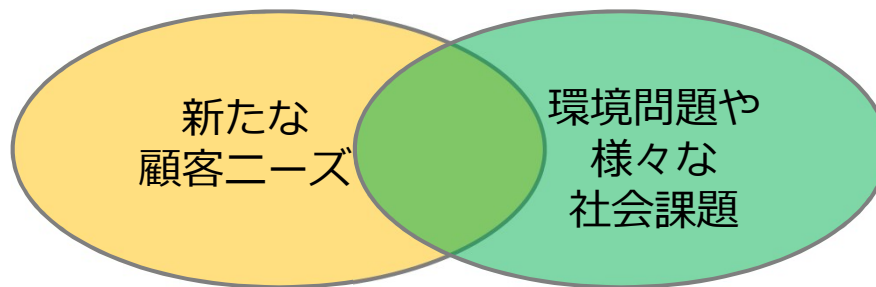
企業概要	社名	株式会社ADOORLINK（アドアーリンク）
	所在地	東京都渋谷区渋谷3丁目12番18号 渋谷南東急ビル5階
	設立	2020年11月2日
事業内容	EC専業でサステナビリティに特化したアパレルブランドを展開する事業：D2C事業	
	廃棄在庫、サンプル商材等の価値再生、及び再販事業	



その他取り組みの御紹介

■ サステナブル素材100%調達を実現したD2Cブランドの開発

ニューノーマルな生活様式での新たなニーズに対し価値を提供する。



顧客のニーズを満たし、且つ
様々な課題解決の一手となるブランド事業を目指す。

BRAND STATEMENT

新しい、ふつう。新しい、カッコよさ

自分にも地球にも、無理なく素直に向き合うこと。

楽しむことを忘れないこと。

それでいて、凛とした強さを内に
秘めているということ。

自分らしさが自信になるような。
日常がもっと愛おしくなるような。

あなたらしい毎日に寄り添う
ライフスタイルブランドとして。

Sustainability –サステナビリティ–

すべての商品にサステナファブリックを使うことに始まり、すべての工程を通じて「ながく続く」と「無駄を省く」を徹底します。

Transparency –全取引の透明性–

Higg Indexを活用した環境負荷情報の開示をはじめ、ブランドとして出来ている事、これから取り組まねばならない事を包み隠さず生活者に開示します。

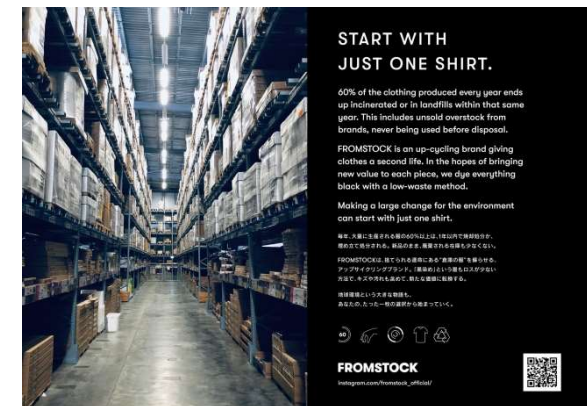
D2C ビジネスモデル

生産者と生活者を直接繋ぐ事により、中間マージンを抑制。高品質でありながら手にとりやすい価格で商品を提供します。

その他取り組みの御紹介

■ アップサイクリングブランドによる残在庫の再価値化

- 着られないことのない“倉庫の服”をシンプルでロスの少ない「黒染め」の手法によってアップサイクルし、価値を再生して販売
- 在庫廃棄問題について業界内で解決策を議論する当社主催の「For Fashion Future」から誕生



■ お客さまとともに取り組むサーキュラーエコノミー

- 着られなくなった子ども服のシェアリングプラットフォーム「KIDSRUBE」
 - ・月額1,980円で毎月8点、または2,980円で3か月ごとに12点のレンタルが可能
 - 詳細：<https://kidsrobe.jp/>
- 不要な衣類を回収し新しい資源にリサイクルする「Play Cycle!」
 - ・2016年より開始、累計で20t以上を回収
 - 詳細：<https://playfashion.adastria.co.jp/playcycle/>



その他取り組みの御紹介

■ 生産工場と連携した環境への取り組み

- グループ調達ガイドラインに環境負荷の低減および汚染の防止等、環境へ配慮していくことを組み込み、取引先に協力を求める
- ガイドラインに沿った取引先へのアンケートの実施や工場への訪問を通じて定期的に状況を確認
- 面談時に使用エネルギー量の把握と管理を依頼

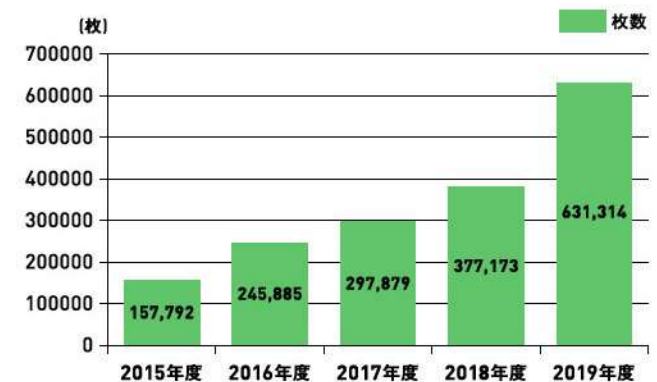
< 工場との連携の流れ >



■ 環境への配慮と営業活動の両立

- ショッピングバッグの辞退で会員ポイントを付与するREBAG PROJECTを2014年から開始（累計で171万枚以上を削減）
- レジ袋有料化に合わせ、マイバックを新たなスタンダードとして提案するキャンペーンを、当社人気スタッフのSNSと連動して実施（お客さまに50万枚のエコバッグを配布）

ショッピングバッグ削減数の推移



A D A S T R I A
— *Play fashion!*